

プロトコール名 乳癌 EC療法

適応 手術可能例における術前、あるいは術後化学療法

投与期間 3週を1コースとして、4コース行う

投与計画

薬剤名	基準量
エピルビシン	100 mg/m ²
エンドキサン	600 mg/m ²

薬剤名	投与量	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
エピルビシン	100mg/m ²		↓																				
エンドキサン	600mg/m ²		↓																				

- ①生食100ml(ラインキープ)
- ①グラニセトロン1B+オルガドロン4A(30min)
- ②生食100ml+エピルビシン 100mg/m² (30min)
- ③生食250ml+エンドキサン 600mg/m² (1hr)
- ④生食50ml (5min)

生食100ml	グラニセトロン オルガドロン	エピルビシン 生食100ml	エンドキサン 生食250ml	生食50ml
	30分	30分	1時間	5分

FN発生率10~20%
⇒ハイリスク患者ではジーラスタ使用可

エンドキサンはケモセーフ バイアルアダプター・ロックシリンジを使用して調製すること

エピルビシンは総投与量900mg/m²を超えないこと！
エンドキサンは総投与量600mg/m²を超えないこと！

●休薬・減量基準

・次表を目安にエピルピシンの減量をおこなう

AST・ALT		T-Bil	投与量
2~4×ULN未満	かつ	1. 2~3. 0mg/dL	50%減量
4×ULNを超える	かつ	3. 1~5. 0mg/dL	75%減量

・次表を目安にエンドキサンの減量をおこなう

AST		T-Bil	投与量
3×ULNを超える	または	3. 1~5. 0mg/dL	25%減量
		5. 0mg/dLを超える	中止

・腎機能に応じて、エンドキサンの減量をおこなうこと

GFR(mL/min)	10以上	10未満
投与量	通常量	25%減量